

# 救急対応マニュアル



森ノ宮医療大学 健康管理センター

(平成 26 年 10 月作成)

(平成 27 年 7 月改訂)

(平成 28 年 4 月改訂)

(平成 29 年 4 月改訂)

(令和 2 年 10 月改訂)

(令和 3 年 11 月改定)

(令和 5 年 10 月改定)

(令和 7 年 1 月改定)

## 目次

I. 救急搬送の流れ（課外活動中の事故対応フロー）	2
II. 救急車について	3
1. 救急車を要請する状況	
2. 救急車を要請した時に伝えること	
3. 救急車が来るまで	
4. 救急車が到着してから	
III. 一次救命処置（心肺蘇生法の手順） （AED の操作手順）	5
IV. AED 設置場所	7
V. 症状別の対応	8
頭が痛い時	
過換気症候群	
脳振とう	
熱中症	
けいれんを起こした時	
VI. 外傷時の対応	9
捻挫	
骨折	
脱臼	
出血	
鼻出血	
火傷	
VII. 近隣病院	11
【巻末】 課外活動事故報告書	12

# I. 救急搬送の流れ（課外活動中の事故対応フロー）

事故発生

## 負傷者の確認

- 事故状況の把握
- 参加者の安全確保・安否確認
- 救護者の安全確保
- 被災者への接近・安全確保
- 被災者の傷病状況確認

決して一人で対処せず、手分けして対応にあたる。

- ・全体を統括して指示を出すリーダー  
(団体の代表者が負傷者の場合もあるため)
- ・負傷者の救急蘇生にあたる者
- ・事故や災害の被害拡大防止に対処する者
- ・119番通報する者

## 応急処置・救急車要請

- 各使用施設（おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)、セレッソスポーツパーク舞洲、大学等の事務局）へ救急車を要請
- 応急処置、一次救命措置（心肺蘇生、AED）
- 医療機関等への被災者搬送

- ・救急車 119    ・警察 110    ・救急医療相談窓口 # 7119
- ・救急医療情報センター 06-6693-1199
- ・東洋タクシー（南港東）06-6262-1110

## 指導者・学生支援室への連絡

連絡の際には、緊急連絡である旨を明確にした上で、事故状況などを伝える。

- 被災の日時・場所    ➢ 被災者の氏名・学科・学年等    ➢ 事故への対応
- 被災者の容態・搬送先

併せて、以下を伝え、以後は大学と相談のうえ現地での対応にあたる。

- リーダーの氏名    ➢ 現地連絡担当者の氏名
- 現地連絡担当者の連絡先（常時連絡できる電話など）    ➢ 現地での滞り場所

リーダーは現地での記録者を定め、以下の内容など関連の記録（内容時刻等）を残す。

- 事故発生    ➢ 対応    ➢ 連絡    ➢ 医療機関における対応

指導者

(休日・平日時間外)

平日 9:00~18:00

学生支援課  
06-6616-6911

大学管理職

事故発生後、原則、部・公認サークル代表者が「課外活動事故報告書（巻末に掲載）」を作成し、指導者へ提出する。

## II. 救急車について

### 1. 救急車を要請する状況

意識障害  
呼吸停止



ただちに救急車（119 番）を呼ぶ



- ・呼吸困難・胸が締め付けられるように痛い・胸が苦しい
- ・頭を強く打ち、嘔気嘔吐がある。
- ・大出血
- ・激痛
- ・けいれん発作が長い
- ・骨折の疑い
- ・大量に酒を飲んだあとである。



意識があっても  
（119 番）を呼ぶ

- ・最初の状態よりも落ち着いてきている。
- ・立ちくらみがある。
- ・嘔気 嘔吐が続く。
- ・38℃ 以上の熱がある。
- ・のどが異常に乾く
- ・2 分程度のけいれん



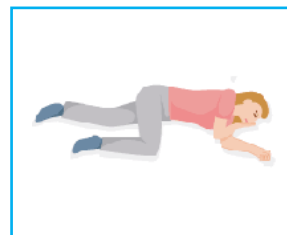
- ・すぐに医療機関を受診する。
- ・救急医療相談窓口聞く  
救急安心センターおおさか  
#7119
- ・医療機関を探す。  
大阪府救急医療情報センター  
06-6693-1199

搬送するときや手当てをするときは、安静を確保し原則水平に寝かせますが、呼吸はあるが意識障害があるときは窒息予防のため回復体位にする。

〈回復体位〉

傷病者を横向きにしてから、下顎を前にだし  
上側の手の甲に傷病者の顔をのせる。

さらに上側の膝を約 90 度曲げて、傷病者が後ろに  
倒れないようにする。



## 2. 救急車を要請した時に伝えること

- ① まず「**救急です**」と伝える。
- ② 場所を伝える。「**森ノ宮医療大学** です」(住之江区南港北1丁目26番16号)  
「**おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)** です」(此花区北港緑地2丁目2番15号)  
「**セレッソスポーツパーク舞洲** です」(此花区北港緑地1丁目2番96号)  
(住所の伝え方の基本は 市町村名から伝えてください。住所がわからない時は  
近くの大きな建物・交差点など目印になるものを伝えてください)
- ③ 傷病者の容態を簡潔に伝える。 「**誰が** **どのようにして** **どうなった**」
- ④ **救急要請した人の氏名・連絡先(携帯番号)** を伝える。

## 3. 救急車が来るまで

- ① 状態の観察をする。(意識状態、呼吸、循環など)

- ② 傷病者の手当てをする。

※一次救急処置 (BLS : Basic Life support)

- ・呼吸がない場合は、ただちに胸骨圧迫を開始する。
- ・呼吸がある場合は、気道確保を行う。

気道確保=あご先を持ち上げるようにして頭を後ろに反らせる。(頭部後屈顎先挙上)

首の怪我が疑われるときは、両手を頬に添え、下あごのみを引き上げる。(下顎挙上法)



- ③ 救急車の誘導をする。

## 4. 救急車が到着してから

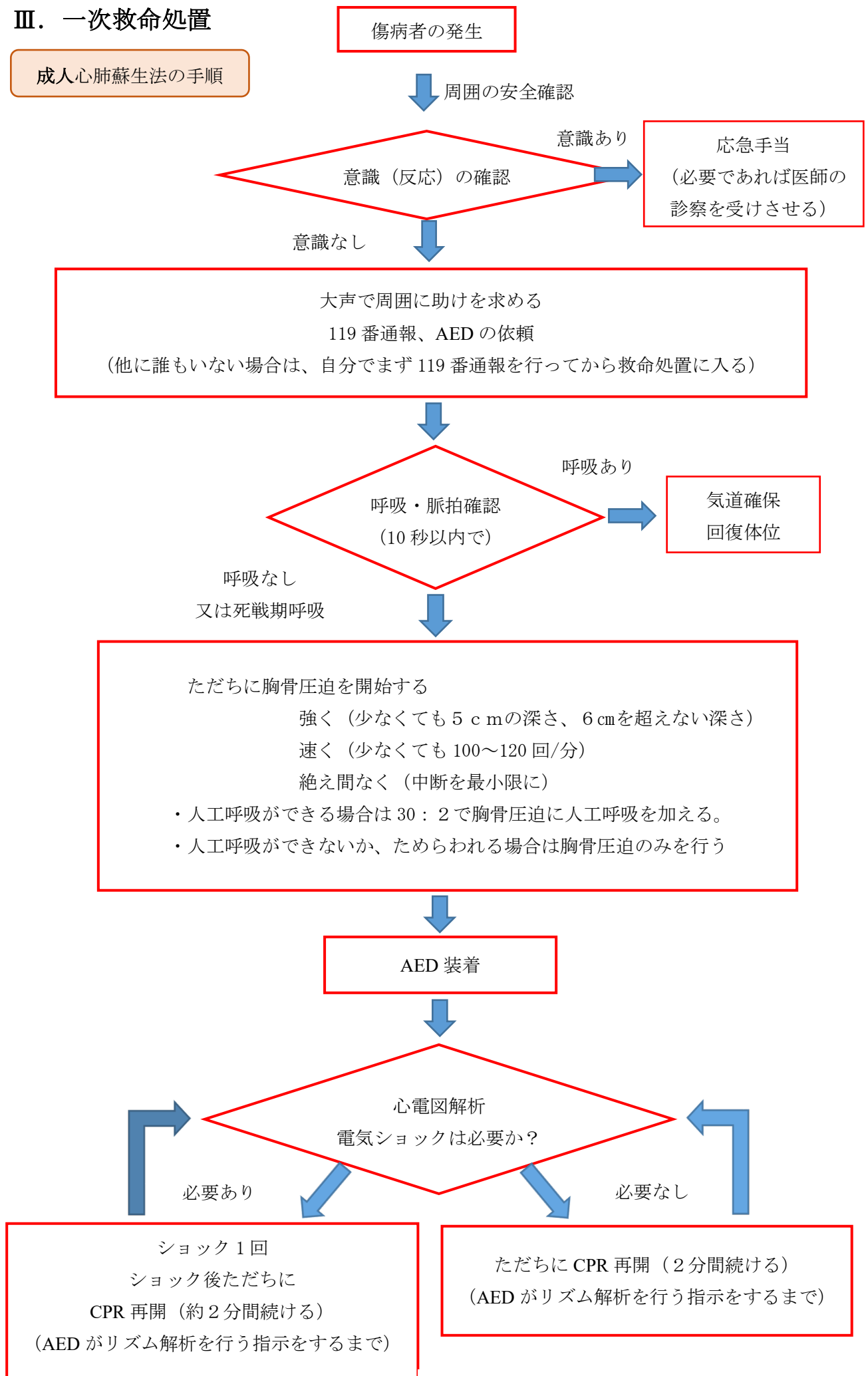
- ① 傷病者の容態と行った処置を伝える。



- ② 救急車に同乗するのは原則、指導者・教職員であるが、現地に指導者・教職員がいない場合は直接病院に向かうので、学生代表者または、それに準ずる学生が同乗する。

### Ⅲ. 一次救命処置

成人心肺蘇生法の手順



## AED 操作手順

※意識・呼吸がなく循環のサインがない場合、AED が到着すれば直ちに AED を装着する。

**操作手順については、各 AED のアナウンスに従って操作を行ってください。**

### 1. AED の電源を入れる

AED のふたを開けた時点で電源が入る機種もある。

### 2. 電極パッドを張り付ける

電極パッドを袋から取り出し、表示してある通りに胸に貼りつける。

(一方は右胸部上部の鎖骨下、もう一方は左胸部下部乳頭の外側)

※電極装着準備中も、できるだけ胸骨圧迫を継続する。

※電極パッド装着時の注意点

- ・胸部が発汗などで濡れている場合は、タオル等で胸壁の水分をしっかりとふき取ってから電極パッドを装着する。
- ・電極パッド装着部位に経皮的治療薬が貼付してある場合は、はがしてふき取ってから装着する。
- ・植え込み型ペースメーカーがある場合は、ペースメーカーの辺縁から 8 cm 以上はなして装着する。
- ・胸毛が多い場合は、電極パッドをしっかりと密着させる。AED の音声メッセージが装着不良を訴える場合は、パッドを装着して素早くはがし胸毛を除毛する。  
(予備のパッドがあることを確認する)

### 3. 傷病者から離れて解析を待つ

電極パッドを装着したら、「離れてください心電図の解析中です」と音声メッセージが流れ、AED が自動的に解析を始めます。

### 4. 電気ショックを行う

電気ショックが必要な場合は「電気ショックが必要です。充電しています。」と音声メッセージが流れ、自動的に充電が開始されます。充電が完了すると「患者から離れて、ショックボタンを押してください」と音声メッセージが流れるので、患者に誰も触れていないことを確認してから、ショックボタンを押す。

ショックの後直ちに CPR を開始し (5 サイクル 2 分間)、AED の指示に従い 2 分おきに AED と CPR の手順を繰り返す。

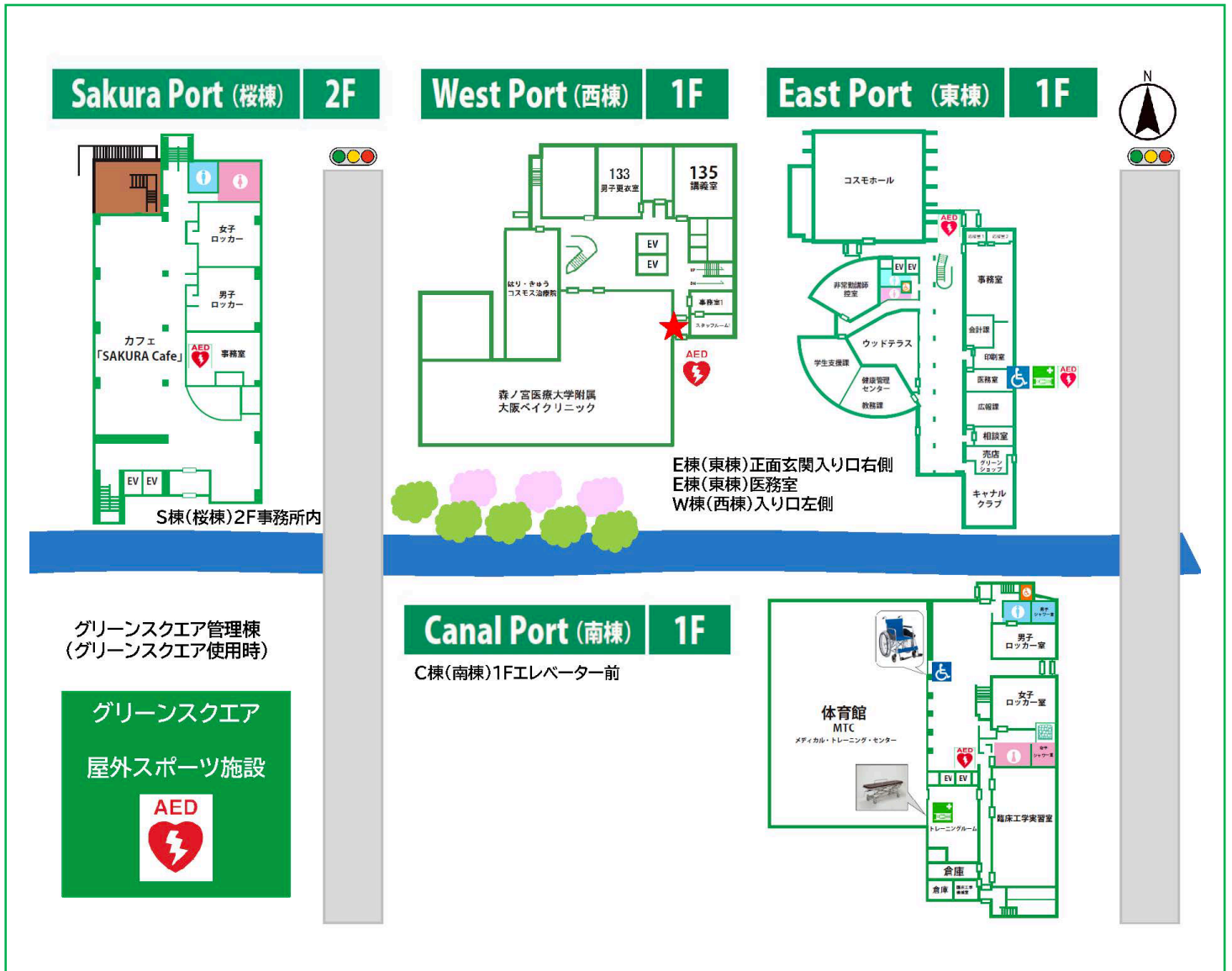
※「電気ショックの必要はありません」というメッセージの場合

- ・傷病者の呼吸・循環を確認し、意識・呼吸がない場合は CPR を 2 分間続けて再度 AED の指示に従う。救急隊が到着するまで CPR を続ける。

※ 意識はないが正常な呼吸をしている場合

- ・AED の電極パッドを傷病者に貼ったままの状態でも横向き (回復体位) にして救急隊を待つ。

# IV. AED 設置場所





## V. 症状別の対応

### 頭が痛い時

- まず安静にする。
- 嘔気 嘔吐があれば横向きに寝かせ、誤嚥を防ぐ。
- 意識状態 呼吸状態 脈拍をチェックする。
- 次の症状があれば、救急搬送する。
  - ・突然激しく、今までに経験したことがないような痛みがある。
  - ・意識がはっきりしない
  - ・眩暈 嘔気 嘔吐がある
  - ・だんだんひどくなる

### 過換気症候群

- 過換気症候群とは、ストレスなどの原因で呼吸過多になり、頭痛やめまい、手の指先や口のまわりのしびれ、呼吸困難、失神など、さまざまな症状を起こすものです。
- ゆっくりと呼吸するように声を掛け、落ち着いた環境にする。
  - 繰り返す場合や症状がひどい場合は受診を勧める。

### 脳振とう

- 脳振とうとは、頭部に衝撃を受けた直後に発症する一時的な脳機能障害です。
- 症状は、頭痛 めまい 霧の中にいる感じ 嘔気嘔吐 反応が遅い  
足がふらつく 興奮 注意力散漫 衝撃前後の記憶がない
- 意識確認、本人の記憶確認を行う。
  - 数秒の意識混濁であれば、しばらく安静（通常5～10分）の後、異常なければ普段の行動に戻ってもよいが、スポーツ中であればフィールドから退場する。その後24時間観察をする。
  - 意識消失、或いは脳振とう症状が15分以上継続する場合は救急搬送する。
  - 意識障害がある場合や頭痛・嘔気がある場合は 首や頭を動かさないよう安静な姿勢を保ち早急に受診する
  - スポーツへの復帰は医師の許可を得る。

### 熱中症

- 涼しい場所に移動させる。
- 衣服を緩める。
- 身体を早く冷やす。
  - ・頸部
  - ・腋窩部
  - ・鼠蹊部

- 冷たいスポーツドリンクなどを飲ませる。
- 次の症状があれば、救急搬送する。
  - ・水分が摂れない
  - ・汗が出ない
  - ・体感が熱いとき
  - ・意識障害がある場合

### けいれんを起こした時

けいれんは、てんかんや脳炎 熱中症 薬物中毒などさまざまな原因でおこります。

- 安静に寝かせて、刺激を少なくする。
- 衣服のボタンをはずし、呼吸を楽にする
- 吐くことがあるので、顔を横に向ける。
- 周りの危険物を遠ざける。
- けいれん発作の時間をチェックする。
- 救急搬送或いは救急車要請をする。

## VI. 外傷時の対応

### 捻挫

- 次のチェックをする。
  - ・腫れていないか
  - ・変形していないか
  - ・自分で動かせるかどうか
  - ・循環状態
  - ・神経症状
- 次に以下の応急処置（RICE）をしましょう
  - ・Resting（安静）：患部を動かさない
  - ・Icing（冷却）：氷や流水で患部を冷やす
  - ・Compression（圧迫）：痛む部位を圧迫する（わからない場合はむやみにしない）
  - ・Elevation（挙上）：患部を心臓より高く上げて、腫れをひかせる
- 激痛や変形、皮膚の色が悪い、脈が弱いときなどは骨折を疑い 救急車要請、或いは応急処置後受診をする。

### 骨折

- 痛がっているところを動かさないように注意し確認する。
- 身近なものを（雑誌・段ボール・板）副木として利用し固定して病院へ行く。

## 脱臼

- 疼痛・腫脹・変形・動きの制限があれば、脱臼を疑う。
- 整復しようとせず、痛くない状態で押さえたまま病院へ行く。

## 出血

- 傷口が汚れてきたない時は水道水で洗い流す。
- きれいなガーゼやハンカチなどを重ねて出血部位に当て、その上を圧迫します。  
(=直接圧迫止血法)
- 「ビュッビュッ」と脈を打つような出血の場合は、直接圧迫止血法と間接圧迫止血法を行い救急搬送する。(間接圧迫止血法=心臓側の動脈をタオルなどで圧迫する。但し、時々圧迫を中断し、血流を開放する。)

## 鼻出血

- 小鼻を指の腹で圧迫する。
- 上を向いたり、うなじを叩いたりしない。
- 額から鼻の部分を濡れたタオルなどで冷やす。

## 熱傷

- できるだけ早くきれいな冷たい流水で15分以上、痛みがなくなるまで冷やす。
- 衣服の上から火傷した場合は、無理に脱がさず衣服の上から冷やす。
- 十分に冷やした後は患部をきれいなガーゼ・布で覆い、上から氷を入れた袋を当てさらに冷やす。
- 水疱ができてても絶対に破らない。
- 火傷がひどいときや、水疱が破れたときは受診する

## VII. 近隣病院

### 総合病院

病院名	住所・連絡先
大阪みなと中央病院 ※本学連携病院	大阪市港区磯路 1-7-1 TEL 06-6572-5721
多根総合病院	大阪市西区九条南 1-12-21 TEL 06-6581-1071
南大阪病院	大阪市住之江区東加賀屋 1-18-18 TEL 06-6685-0221
南港病院	大阪市住之江区北加賀屋 2-11-15 TEL 06-6685-8801
小川病院	大阪市港区市岡 1-27-25 TEL 06-6572-5651

### 整形外科

病院名	住所・連絡先	
整形外科河村医院	大阪市港区三先 1-10-30 TEL 06-6575-3737	月～土 9:00～12:00 月～金 17:00～19:30
整形外科にしもの クリニック	大阪市住之江区南港中 2-1-99 TEL 06-6613-6767	月～土 9:00～12:30 月火水金 16:30～19:30

### 外科

病院名	住所・連絡先	
中島クリニック	大阪市住之江区南港中 3-4-79 TEL 06-6612-0818	月～土 9:00～12:00 月火水金 17:00～19:00

### 内科

病院名	住所・連絡先	
咲洲病院	大阪市住之江区南港中 2-1-30 TEL 06-6614-1111	月～土 9:00～12:00
市来医院	大阪市住之江区南港中 4-2-14-102 TEL 06-6613-8717	月～土 9:00～12:00 月火水金 16:00～19:00
はなのまちファミリー クリニック	大阪市住之江区南港中 5-5-41-101 TEL 06-6612-8822	月～土 8:45～11:30 火水金 18:00～20:00
長谷川内科	大阪市住之江区南港中 2-1-99 TEL 06-6614-1131	月火木金 8:45～12:00 月火木金 15:30～18:00

# 巻末

- ・ 課外活動事故報告書

\*コピーして使用することも可能です。

\*MORIPA からのダウンロード、学生支援課窓口で配布することも可能です。

# 課外活動事故報告書

報告日： 年 月 日

※申請は原則、部・公認サークル代表者が行ってください。

申請者	所属団体名・役職	(部／公認サークル／同好会) ※該当箇所に○
	学部・学科名	
	学籍番号	
	フリガナ	
	申請者氏名	

負傷者情報記入	学部・学科名	
	学籍番号	
	フリガナ	
	負傷者氏名	
	事故の日時	年 月 日( ) 時 分頃
	事故の場所	
	活動の形態	1. 課外活動中(大学施設内) 2. 課外活動中(大学施設外) 3. その他( )
	事故の状況	
	外傷の内容(傷病名)	
	搬送先(病院名)	
	治療期間(見込)	1. 入院____日間 2. 通院____日間 3. なし
「Will」の申請	1. 申請済( 月 日) 2. 未申請	
指導者確認欄	上記の事故が発生したことを確認しました。 指導者名： 印	

事務処理欄	
-------	--